

標準化 TF たたき台  
属性項目解説書

0. 共通

2024. 10. 30

標準化 TF

# 目次

I. この解説書について .....	1
II. 共通事項.....	2
1. 標準属性項リストの見方【フィルタセット】.....	2
1-1. 検討チーム .....	2
1-2. 階層 1-1~5 2-1~5 .....	3
1-3. 区分 1~5 .....	6
2. 標準属性項目リストの見方【共通フィールド】.....	7
2-1. 共通 ID .....	7
2-2. 属性項目名（日本語） .....	7
2-3. 属性項目名（英語） .....	8
2-4. データタイプ .....	8
2-5. 単位.....	8
2-6. 入力値（参考値） .....	9
2-7. 属性項目説明 .....	9

3. 標準属性項目リストに表現していないフィールド【個別フィールド】 .....	10
3-1. ユースケースとステージと役割区分 .....	10

# I. この解説書について

この解説書は、別紙標準属性項目リストの内容のうち意匠・構造・設備に共通する部分を解説したものになります。その構成は以下のようになっています。

## II. 共通事項

標準属性項目リストの見方をフィールドを中心に解説しています。

今回公開する標準属性項目リストは完成品ではなく、作成過程にあるものとなっております。またベースとした既存の属性項目リスト（BLCJ、建築三会等が一般公開したリスト）の内容がここで説明するルール等と違っている場合があり、それを今回提示するルール等にすべてを合わせたわけではありません。

今回はその作成過程にある EXCEL の標準属性項目リストも提示することによって、属性項目の意味やその考え方や内容を共有することで、皆様の有意義なご意見をいただき、今後の活動内容などに反映していきたいと考えています。

## II. 共通事項

標準属性項目リストの見方をフィールドを中心に解説します。

別紙概要書に説明している【フィルタセット】、【共通フィールド】、【個別フィールド】ごとに解説します。

### 1. 標準属性項目リストの見方【フィルタセット】

#### 1-1. 検討チーム

このフィールドが示しているものは、ただ検討を行ったチームを示しているだけです。その値として'意匠'が入力されていたとしても、その行のデータが意匠のみに利用されることを示しているものではありません。情報連携の過程では、あるステージで意匠が入力した値を、次のステージで設備や構造で利用したりすることはよくあることです。さらに属性項目によっては、引継ぎを行いその値の更新を別の関係者が行うなど様々なことが考えられます。

今回は 意匠・構造・設備 の3つの値が入力されています。施工に関しては別のシートとしているため今回は入力されていませんが、今後同じフォーマットにしていく予定です。

この検討チームのフィールドの使い方としては、どこの検討チームが整理した属性項目なのかをフィルタリングしたり、ソートしたりするときに主に活用することができます。

## 1-2. 階層 1-1~5 2-1~5

当標準化 TF では、オブジェクトの分類体系を検討する TF ではありません。但し、属性項目が何のオブジェクトのものなのかを整理しておかないと、検討や確認もすることが困難となります。そこで TF で仮に定めたオブジェクトの分類を階層 1 と階層 2 で整理しました。

### □ 階層 1 -1~5

オブジェクトの種類を示しています。

柱・梁・壁・屋根・階段・ドア・窓・部屋・衛生器具・舗装などを階層 1-1 として仮に設定し、それぞれの種類を階層 1-2 以降に入力することになっています。

例として階層 1-1：ドアを考えた場合、次の階層 1-2 にはアルミ製・スチール製・木製などの材質による種類分けを入力し、次の階層 1-3 には片開きドア・片引きドア・両開きドアなどのような種類分けを入力するイメージです。このような複数の種類に対応できるように、階層 1-1~5 までのフィールドを設定しています。

但し今回はほとんどが階層 1-1 のみの記載にとどまっています。その理由の一つが、属性項目が何かの種類に限定されていないものが多いことがあげられます。

### □ 階層 2 -1~5

オブジェクトの部分を示しています。

例として階層 1-1：ドアを考えた場合、階層 2-1 には枠・扉・金物などのようなドアを全体として考えたときの部分を入力しています。階層 2-2 以降は上の階層の更なる部分を示す必要がある場合に入力しています。よって階層 2 の順番はある程度意味を持っていますが、それも全体をどのように定義するかによって変わるため厳密な順番は定めていません。また、階層 2 には必ずしも値が入力されてはいません。階層 1-1 で属性項目がどこを示しているかわかる場合があるからです。

このような考え方で整理していますので、階層 1-1~5 と階層 2-1~5 の各フィールドを適宜利用してフィルタリングしたり、ソートすることで必要な属性項目を探したりする場合に活用することができます。

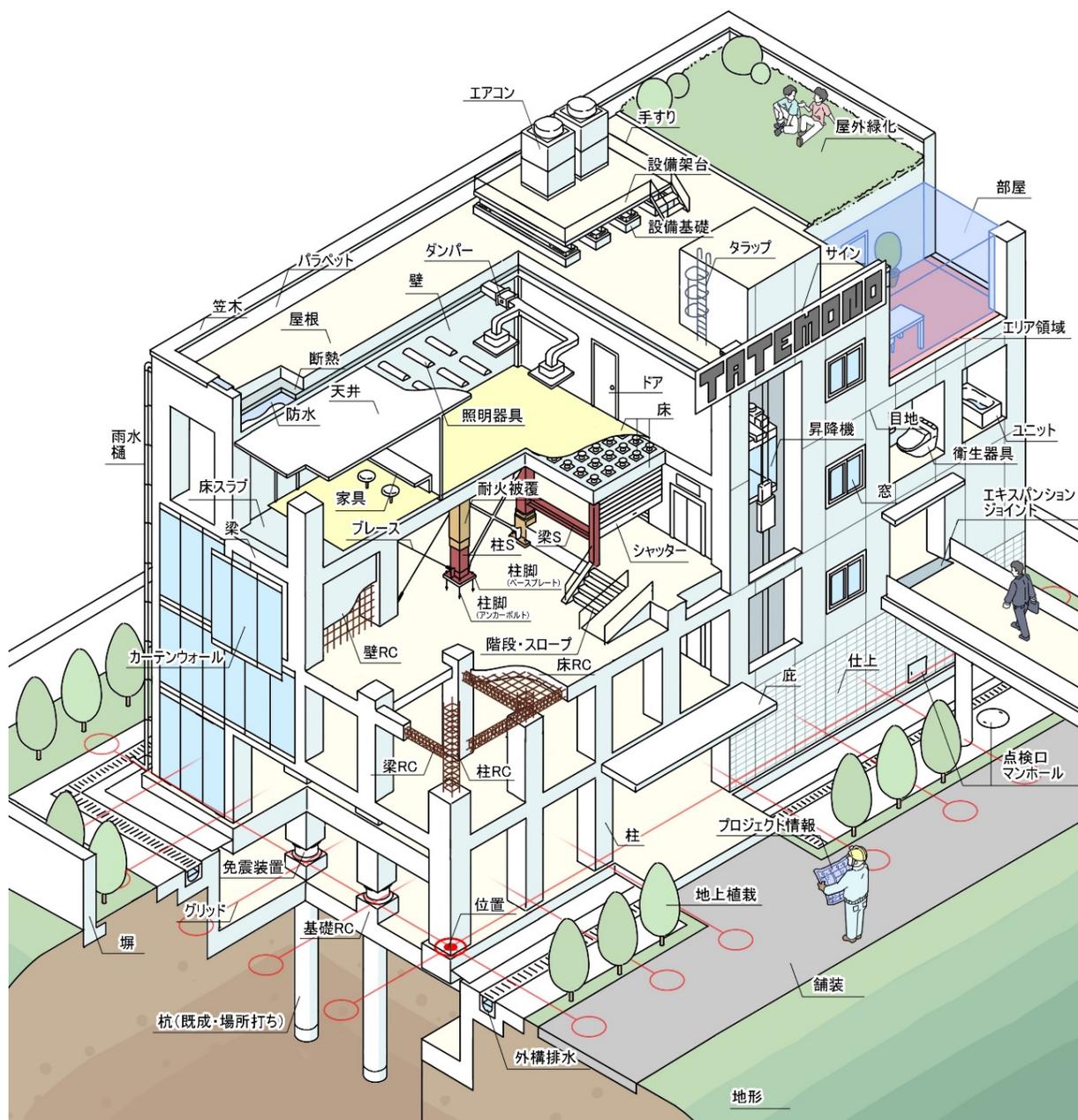
階層の説明の補足としてりんごを例に説明すると

階層 1：富士、つがる、紅玉などのりんごの品種の種類

階層 2：皮、種、実、つるなどのりんごの部分

このようになりますが、階層 1 には品種のほかにも商品としての価値を示す等級のようなものもあります。また階層 2 では学術的な部分名だともっと違った表現や分類があります。

もっと簡単に理解していただくために、階層 1 に記載している主な部別別オブジェクトを左図のようにイラストで提示しますので参考としてください。



---

### 1-3. 区分 1~5

---

オブジェクトの分類とは別に属性項目の特性に合わせて分類を整理しました。これも仮に定めたものであり、厳密な分類体系を示すものではありません。

このフィールドもフィルタリングしたり、ソートすることで必要な属性項目を探したりする場合に主に活用することができます。

## 2. 標準属性項目リストの見方【共通フィールド】

### 2-1. 共通 ID

属性項目に対し、固有で付与する ID であり、属性項目説明にて ID の位置づけを判断する最重要フィールドです。

今回はまだ入力していません。

### 2-2. 属性項目名（日本語）

属性項目名の日本語を入力しています。ここに入力している値には同じ名称のものも含まれています。それらは前述の階層 1-1~5 2-1~5 で整理されて、それぞれ個別の意味を持っていることが示されています。また日本語を入力する際のルールを以下の表のように定めています。

ルール	説明
全角・半角の使い分けは説明欄の通りにする。	日本語(漢字、ひらがな、カタカナ)はすべて全角とする 英数字記号はすべて半角とする
説明欄に挙げた禁則文字は利用しない	/ ? < > ¥ : *   ",
区切りにスペースは使わない。	代わりにアンダーバー_を利用する 例：枠_仕上 額縁_仕上のように区切りがあったほうが理解しやすい場合に使う

使用する用語が複数ある場合は、以下の書籍の用語を基本とする。

建築基準法 公共建築工事標準仕様書

建築物の構造関係技術解説書

がらすを【硝子】、【ガラス】のどれを採用するか迷った場合は、【ガラス】とする。

### 2-3. 属性項目名（英語）

属性項目名（日本語）の英訳を入力しています。但しすべての英訳が入力されているわけではありません。

今後は IFC のプロパティセットとの対応も考慮して英語の値を入力していく予定です。

### 2-4. データタイプ

分析検討する段階では容易に判断できるもので入力しています。

### 2-5. 単位

単位は以下の表を基本としています。一部イレギュラーな項目もあります。

長さ	mm
座標値	mm

面積	m <sup>2</sup>
角度	度(degree)
容積	m <sup>3</sup>
通貨	円
時間	秒
質量	kg
重量	N
荷重	N/m <sup>2</sup>

---

## 2-6. 入力値 (参考値)

---

属性項目の内容を理解するのを助けるために参考値を入力しています。

---

## 2-7. 属性項目説明

---

属性項目の内容を説明しています。

## 3. 標準属性項目リストに表現していないフィールド【個別フィールド】

個別のフィールドは、今回の標準属性項目リストには記載していませんが、以下に示すフィールドについて検討中です。

### 3-1. ユースケースとステージと役割区分

ユースケースとステージと役割区分は、情報連携の過程の中で変化していくもので、それぞれ一意には決まらないことから標準属性項目リストと同一のテーブルで示すよりも別のテーブルで示したほうがより整理しやすいと考えています。そのテーブルをどのように整理すべきかは今後の検討課題となっています。